

ERECTA セキュリティ・カート 組立説明書

SEC 30, 36, 48, 60 (一般用)

この度は、エレクターセキュリティ・カートをお買い上げいただきましてありがとうございました。
本製品を安全にお使いいただくために、この説明書をよくお読みいただき、内容をご理解のうえ注意事項を遵守していただくようお願いいたします。

ご使用前に必ずお読みください

- 組み立て前に部品の不足・欠損がないか、必ずご確認ください。
※商品には万全を期しておりますが、万一部品が不足・欠損していた場合は、組み立てを行わずお買い求めの販売店または弊社カスタマーサービスへご連絡ください。
- 組み立ては、この説明書をよくお読みになり、手順に従って正しく組み立ててください。
誤った組み立ては破損やケガの原因となります。
- お取扱い上の不注意や商品の改造により生じた機能低下や事故については保証いたしかねます。
- 下記の「警告」「注意」をよくお読みいただき厳守していただくようお願いいたします。



警告

- 耐荷重を超えて物を載せないでください。
耐荷重を超えた負荷を与えると、製品が破損する恐れがあります。

| | |
|-----------|-----------------|
| 棚一段あたり耐荷重 | 250kg (等分布) |
| 総耐荷重 | 300kg (中間棚付の場合) |

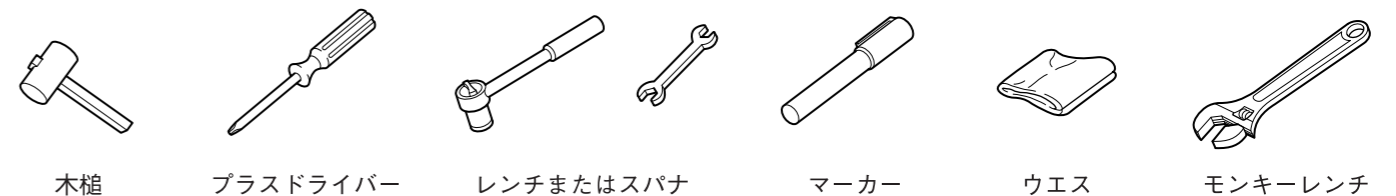
- 本製品を踏み台にしたり、ぶら下がったり上に登るような行為は絶対に行わないでください。
転倒や積載物の落下により重大な事故となる恐れがあります。
- 本製品を移動する際は、周囲の安全に十分配慮してください。
特に重量物の積載時には慣性が働き、不用意に扱えば重大な事故を起こす恐れがあります。



注意

- 組み立ては平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。
床や壁面の保護のために当て布などを敷いて作業してください。
- 固定部品がずれたり、棚が水平になっていないなど組み立てが不完全な場合は、そのまま使用せずにもう一度組み立てなおしてください。
- 傾斜した場所や、床面がやわらかい場所など不安定な場所には設置しないでください。
積載物が落下して破損したり、転倒して思わぬ事故となる恐れがあります。
- 本製品を移動する際は、周囲との間隔を十分あけて移動してください。本体が引っかかり転倒や物を傷つける恐れがあります。
- 本製品を移動する際は、扉を開けたままの状態や急激な移動は行わないでください。また、トップシェルフの上には物を載せないでください。物が落下して破損やケガの原因となります。
- 移動時以外はキャスターのストッパーをかけてください。また、傾斜した場所や段差の付近には設置しないでください。暴走や転倒、積載物の落下により思わぬ事故の原因となります。
- 扉の開閉時には手や物などを挟まないようご注意ください。
- 棚板のメッシュより小さいものは、落下して破損する原因となりますので載せないようにしてください。
- 中間棚の高さを変更する際には、積載物をすべて降ろしてから行ってください。
物品の破損やケガなどの思わぬ原因となります。
- 車輪の材質はゴムです。有機溶剤やガソリン・油脂類の付着は劣化の原因となります。
- 清掃の際には、中性洗剤をご使用ください。
- 本製品は防錆加工を施してありますが、使用環境によっては錆の発生する場合があります。

必要工具



木槌

プラスドライバー

レンチまたはスパナ
(17m/m)

マーカー

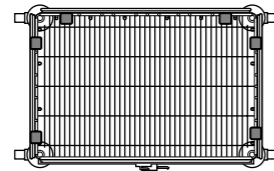
ウエス

モンキーレンチ

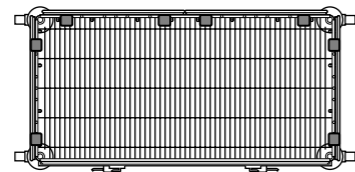
オプションの中間棚をご使用の場合

14 パネル固定金具の取り付け

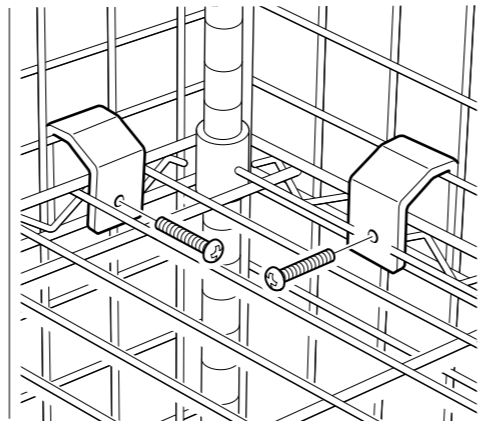
A図 30



B図 36, 48, 60

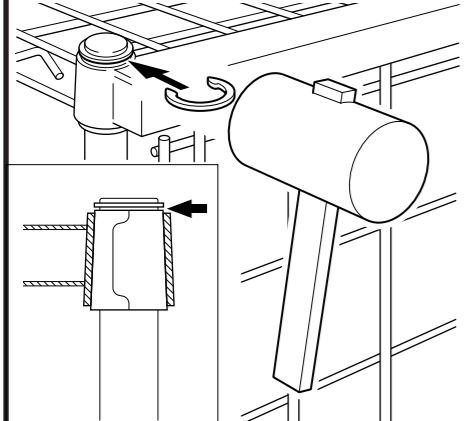


SEC30サイズは 図 (6ヶ所)、SEC36、48、60サイズは 図 (8ヶ所) の位置にパネル固定金具を取り付けます。



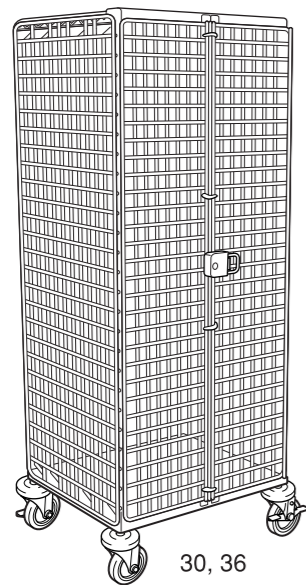
図のようにパネル固定金具を中間棚の側縁とパネルの横線材に引っ掛け、内側からビスで固定します。

13 Cリングの組み付け

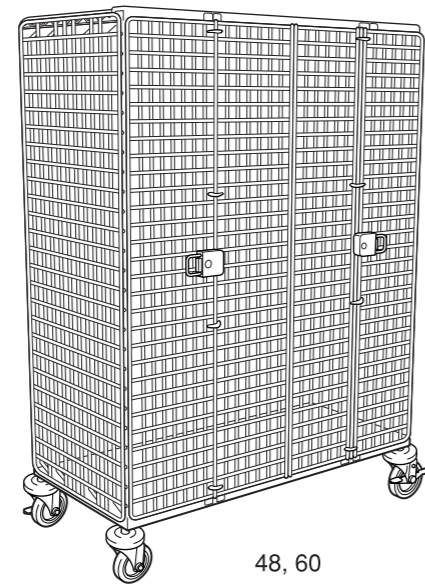


アルミテープの溝の部分にCリングを合わせ、木槌で打ち込みます。

完成図



30, 36

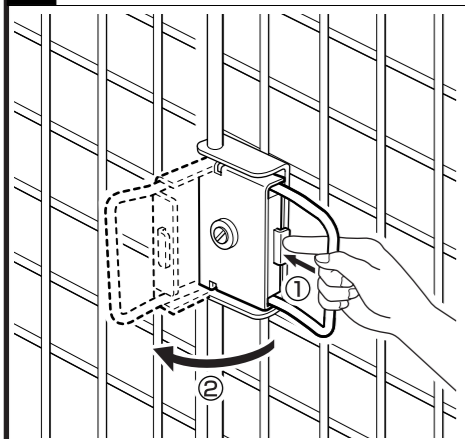


48, 60

仮止めしていたボルトを本締めします。
ひとつおりの組み上がりましたら、歪みやガタつきがないか、もう一度確認します。

扉の開閉の仕方

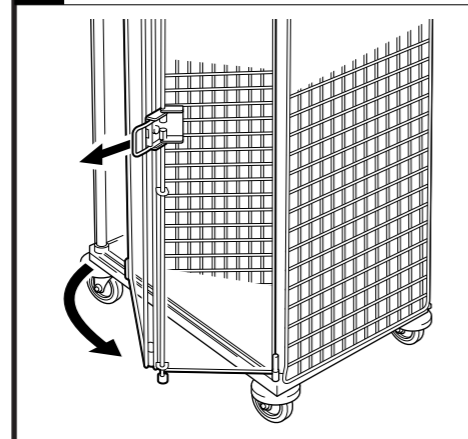
1 扉の開け方(1) ロック解除



- ①ハンドルのロックレバーを押します。
- ②ハンドルを起こします。(手前に90度回転)

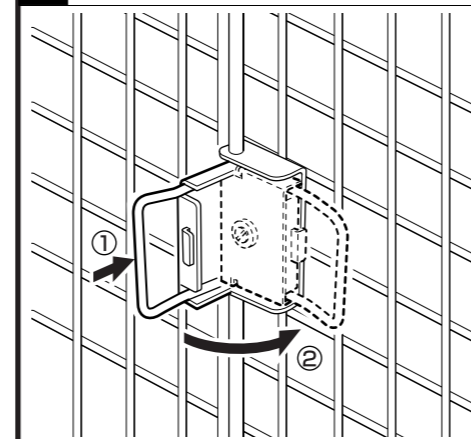
■ハンドルキーで施錠してください。

2 扉の開け方(2) 開扉



ハンドルを起こしたまま手前に引けば扉は開きます。扉が開いたらハンドルを扉側に押し込んでください。

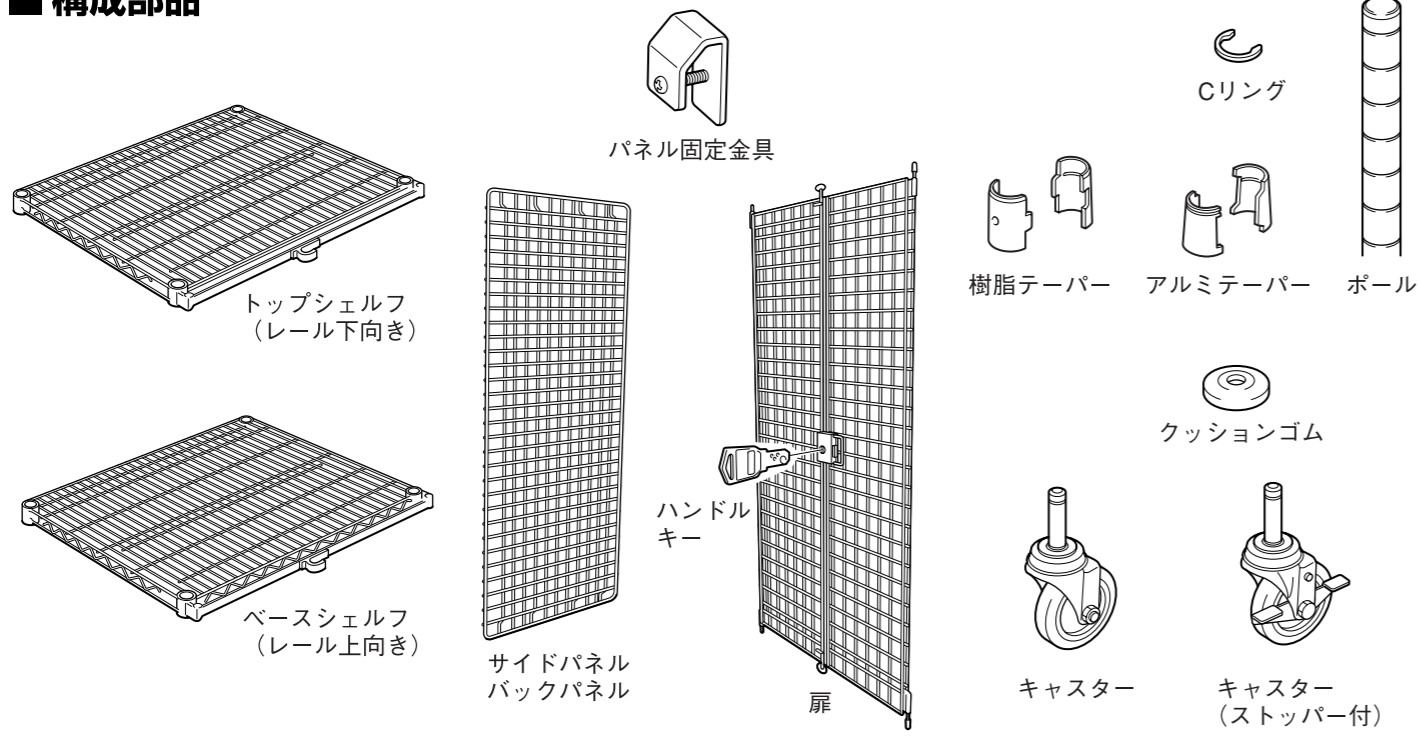
3 扉の閉じ方



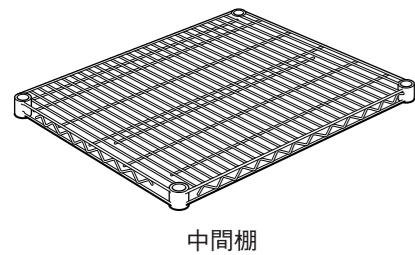
- ①ハンドルを起こしたまま扉を閉めます。
- ②ロックが動くまでハンドルを扉側に押しこんでください。

●商品についてのお問い合わせは **カスタマーサービス**
0120-707-532 (受付時間/9:00~12:00
土日祝日を除く 13:00~17:30)
エレクターホームページ <http://www.erecta.co.jp>

■ 構成部品



■ オプション



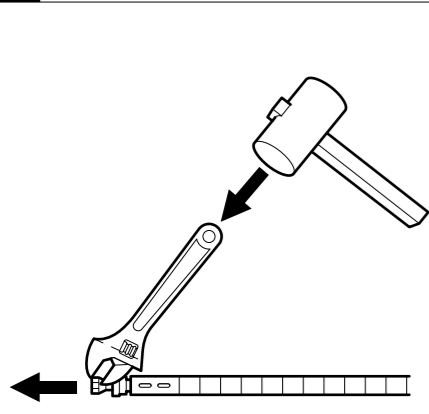
構成部品表

| パーツ | 品名 | S E C | | | |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 30 | 36 | 48 | 60 |
| 扉 (ハンドルキー付) | (組) | 1 | 1 | 左・右各1 | 左・右各1 |
| サイドパネル | (W×枚) | 610×2 | 610×2 | 610×2 | 610×2 |
| バックパネル | (W×枚) | 760×1 | 460×2 | 610×2 | 760×2 |
| トップシェルフ | (枚) | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ベースシェルフ | (枚) | 1 | 1 | 1 | 1 |
| ポール | (本) | 4 | 4 | 4 | 4 |
| アルミテーパー | (組) | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 樹脂テーパー | (組) | 8 | 8 | 8 | 8 |
| Cリング | (個) | 4 | 4 | 4 | 4 |
| クッションゴム | (個) | 4 | 4 | 4 | 4 |
| キャスター (ストッパー付き含む) | (個) | 4 | 4 | 4 | 4 |
| パネル固定金具 | (個) | 8 | 8 | 8 | 8 |

※ パネル固定金具はオプションの中間棚をご使用の場合のみ必要となります。

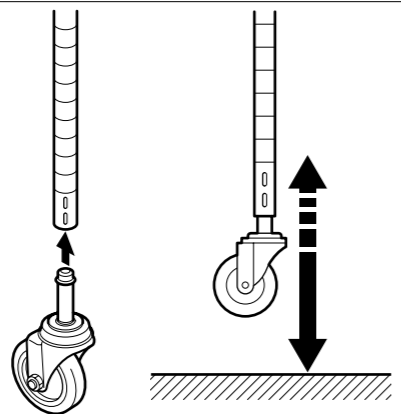
組み立て

1 ダイキャスト・ボルトの抜き取り



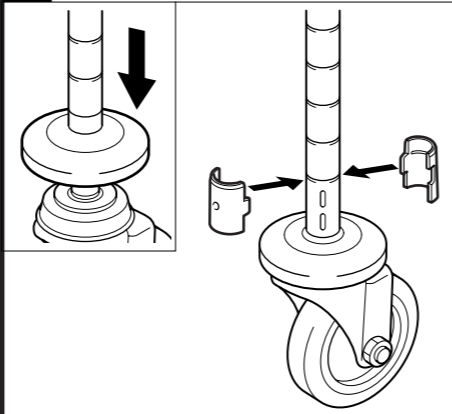
ポール下部のダイキャストを、モンキーレンチ等をボルト部分にあて、木槌でたたいて抜き取ります。

2 キャスターの組み付け



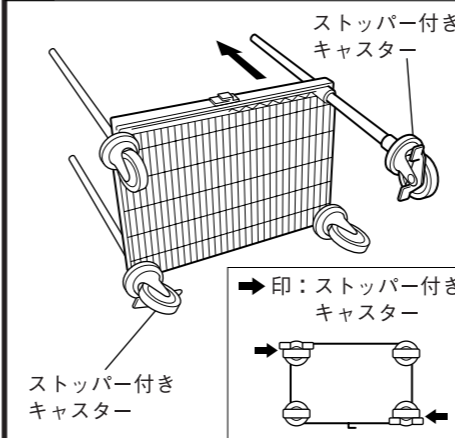
ポールにキャスターを差し込み、固いものの上でキャスターをポールの末端まで、しっかりたたき込みます。

3 クッションゴムとテーパーの取り付け



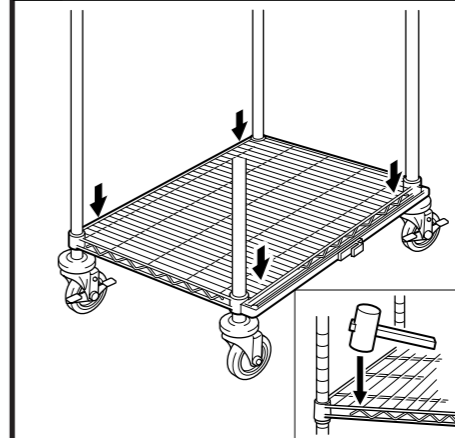
クッションゴムを差し込み、ポールの一番下の凹溝に樹脂テーパー内側の凸部を合わせて取り付けます。

4 ベースシェルフの取り付け



ベースシェルフを横にして、四隅のコーナーリングにポールをテーパーの位置まで差し込みます。(ストッパー付きキャスターは上図の位置に取り付けます)

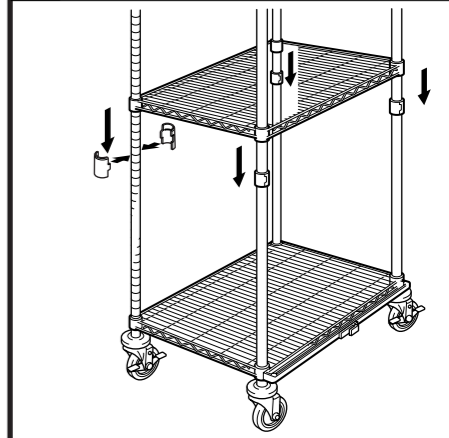
5 ベースシェルフの固定



本体を立て、木槌で棚の四隅の部分交互にたたき、固定します。

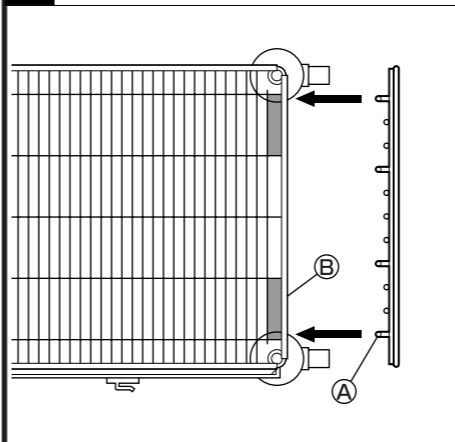
【注意】 テーパーのずれがないよう、確認してください。

6 中間棚 (オプション) の取り付け



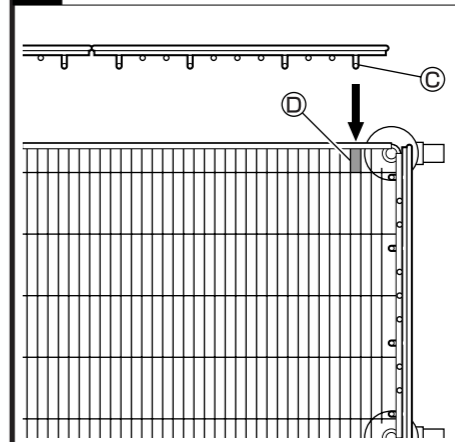
4本のポールの任意の位置に樹脂テーパーを取り付け、中間棚をテーパーの位置まで差し込んで5と同様にして固定します。

7 サイドパネルの取り付け



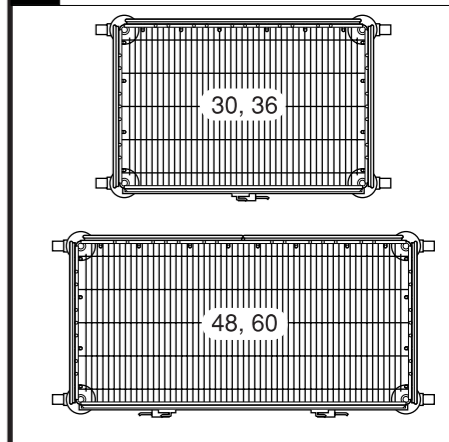
サイドパネル下部のフックA部をベースシェルフの端から2マス目B部に差し込みます。反対側の差し込みも同様に行います。

8 バックパネルの取り付け



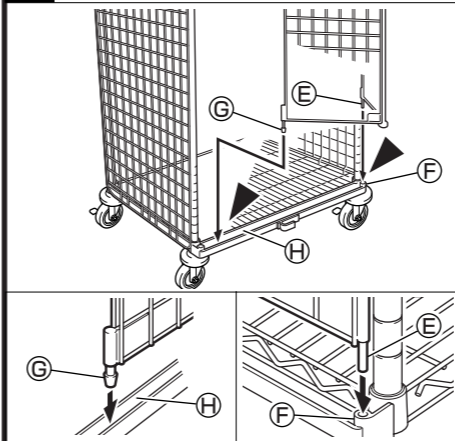
バックパネル下部のフックC部をベースシェルフの端から4マス目D部 (数え方に注意) に差し込みます。反対側の差し込みも同様に行います。

9 扉の位置関係



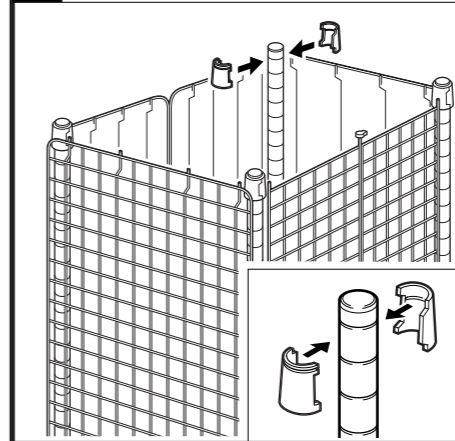
SEC 30、36は扉の右側に、SEC 48、60は左右扉の外側にハンドルがくるようにします。(扉はいずれも上下対称形です)

10 扉の取り付け



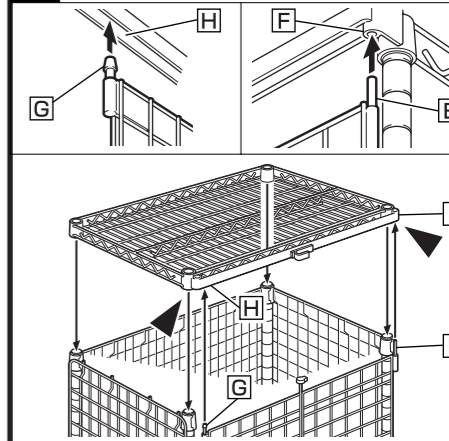
扉を中折れ状態にして、ベースシェルフF部に扉E部を差し込み、G部をベースシェルフH部に入れます。SEC48、60は左右勝手違いに取り付けます。

11 アルミテーパーの取り付け



ポールの一番上にある凹溝にアルミテーパーを取り付けます。

12 トップシェルフの取り付け



扉を全閉しトップシェルフのコーナーリングをアルミテーパーに差し込みます。10と同じようにG部とE部、H部とD部が合うようにし、木槌でトップシェルフをたたき固定します。